

●フレーム

新パッケージングにおいて、燃料タンクをフロア下にマウントするためにこれまでのモノ・アンダーボーンからダブル・アンダーボーンとしながら、各部のパイプサイズ・板厚を最適化することで従来モデル同等のフレーム重量を実現しています。

燃料タンクをフロア下のサイドパイプへ直接マウントすることでフロア高を抑え、居住性のよさに寄与しています。

また、ラゲッジボックス後方に位置するクロスパイプをフレーム最後部まで下げることでシート下収納スペースの拡大を実現しました。

●サスペンション

新開発のフロントフォークは上位モデルで採用されている油圧式とすることにより、快適な作動性としっかりとした減衰力を両立。多様な交通環境の中で上質な乗り心地と安心感ある操縦性を実現しています。外観は力強いスタイリングを表現しています。

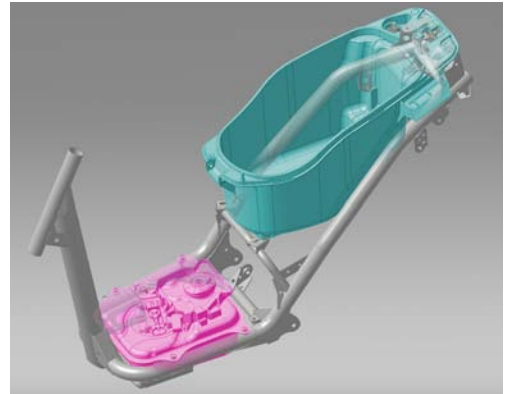
●コンビブレーキ

より安心感ある走りを目指し、Honda独自の連動ブレーキシステムコンビブレーキを採用しています。また、フロントにはコントローラブルなディスクブレーキを装備しています。

※「コンビブレーキ」はあくまでもブレーキ操作を補助するためのシステムであり、ブレーキングの基本は左右のブレーキレバー(前・後輪ブレーキ)を同時に操作することです。

■車体レイアウト図

(フレーム、燃料タンク、ラゲッジボックス)

**■フロントディスクブレーキ**